

風水害等の「警報」発令時及び災害発生時における児童の登下校について（改訂版）

令和8年5月より、防災気象情報は「警戒レベル」に応じて発表されるようになりました。本校では、児童の安全確保を最優先し、以下の通り対応します。

		状況	学校・家庭 の対応	メールの配信等
前 日	大雨 土砂災害 暴風 雷 大雪等	レベル4危険警報の発表が予測されるとき	臨時休校※2	○レベル4大雨危険警報の発表が予測される、または発表されていない場合でも危険が見込まれる際には、教育委員会が一斉休業を判断し、学校よりすぐー等で配信します。
	大雨 土砂災害 暴風 雷 大雪等	朝6時の時点で横浜市内（北部）に【レベル4危険警報】が発表されているとき （大雨、土砂災害、暴風、大雪雷等のいずれか一つでも発表されたとき） ※上記に該当しない場合は、通常通り登校としますが、各ご家庭において安全を最優先に判断してください。	臨時休校※2	○地形等の状況や台風の進路予測、降雨量の見込み、通学路の安全性などを踏まえ、安全な登校が困難と判断した場合は、休校と判断する場合があります。
	震度5以上の地震	登校前に横浜市内で※1「震度5強以上の地震発生」のとき	臨時休校※2	○すぐー等の連絡を待たずに休校となります。
登 校 前	南海トラフ地震	「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたとき	・原則、通常通り。各ご家庭で、登校の安全を判断して登校させてください。 ・市教育委員会から「全市臨時休業」の指示があれば休校となります。 ・地域の危険度により、美中ブロックで登校の見合わせを行う場合があります。	○状況を総合的に判断し、対応をすぐー等で配信します。
	大雨 土砂災害 暴風 雷 大雪等	○登校後、横浜市内（北部）に【レベル4危険警報】が発表されたとき （大雨、土砂災害、暴風、雷、大雪等のいずれか一つでも発表されたとき）	留め置き・引き渡し 状況によっては 集団下校または 職員の見守り下校	○状況を総合的に判断し、対応をすぐー等で配信します。
登 校 後	大雨 土砂災害 暴風 雷 大雪等	○登校後、天候が悪化し「レベル3警報」時点でも危険だと判断したとき	通常下校 家庭で危険と判断された場合は、お迎えによる早退をさせることも可能。（出席扱い） 時間を早めて下校※3 時間を遅らせて下校※3	○状況を総合的に判断し、対応をすぐー等で配信します。
	震度5以上の地震	○登校後に横浜市内で※1「震度5強以上の地震発生」のとき	留め置き・引き渡し	○すぐー等の連絡を待たずに引き渡しとなります。
	震度5以上の地震	○校外学習、遠足、宿泊学習中に震度5強以上の地震が観測された場合	【宿泊を伴う校外活動】 所在地の警戒本部または災害対策本部の指示に従い対応する。 【宿泊を伴わない校外活動】 原則として即時帰校。但し、交通機関の運行状況や道路の状況によって、帰校することが危険と判断される場合には、近くの安全な場所に避難し、対応する。	○状況によってはすぐー等での配信ができないことや、配信が遅れることもあります。
	Jアラート	○「Jアラート（全国瞬時警報システム）」で自然災害以外のテロ・武力攻撃などの警報が発せられているとき	留め置き・引き渡し 状況によっては集団下校または職員の見守り下校 警報が解除されたら通常下校	○状況を総合的に判断し、対応をすぐー等で配信します。

※1 横浜市内での震度5強は、横浜市内のどこか1か所でも観測した場合を指します。

※2 放課後キッズクラブの対応については、キッズクラブの「警報時の対応」をご確認ください。

※3 出席停止扱いとは、欠席にも出席にもなりません。